

第3・4学年 音楽科学習指導案

日 時：平成23年10月6日（木）5校時

対 象：滝沢村立柳沢小学校

3年生（男子3名 女子3名 計6名）

4年生（男子2名 女子3名 計5名）

指導者：佐々木 節子（滝沢村立柳沢中学校教諭）

1. 題材名 日本音楽に親しもう
2. 学習材名 「祇園囃子」「神田囃子」

3. 題材について

（1）児童観

4年生は、3年生のときに複式学級で「こきりこ節」を歌ってきている。3年生は、はじめての日本音楽である。3年生4年生とも、日本音楽に親しむ機会が多いとは言えないが、生活経験から日本楽器特有の音や音色に興味・関心を持って聴くことができると思われる。

（2）学習材観

この題材は、学習指導要領「B鑑賞」の（1）ア「曲想とその変化を感じ取って聴くこと。」、イ「音楽を形づくっている要素のかかわり合いを感じ取り、楽曲の構造に気を付けて聴くこと。」、ウ「楽曲を聴いて想像したことや感じ取ったことを言葉で表すなどして、楽曲の特徴や演奏のよさに気付くこと」、（2）ア「和楽器の音楽を含めた我が国の音楽、郷土の音楽、諸外国に伝わる民謡など生活との関わりを感じ取りやすい音楽、劇の音楽、人々に親しまれている音楽など、いろいろな種類の楽曲」及び共通事項ア「音色、リズム、速度」について学習するものである。

「祇園囃子」は、鉦8名、締太鼓2名、能管8名で演奏されている。能管が旋律的な動きをするのに対して、締太鼓と鉦はそれを支えるリズムを刻んでおり、大勢で調子を合わせて演奏されている。

「神田囃子」は、大太鼓1名、締太鼓2名、鉦1名、篠笛1名の5人囃子で演奏されており、急一緩一急の3つの部分で構成されている。はじめの部分は、テンポよくすすみながらもそれぞれの楽器の音色が際立っており、子どもたちにも音色が聞き分けられる。中間部分では、聴きなれた旋律が篠笛の伸びやかな音色によってゆったりと演奏される。また、終わりの部分では、再び動きのあるはじめの部分と同じ演奏が繰り返され、変化を楽しむことができる。

本題材は、高学年では、「日本と世界の音楽に親しもう」、中学校では、「郷土の民謡」や「雅楽」、我が国の伝統芸能である「能」、「歌舞伎」の鑑賞学習へと発展していく。

（3）指導観

ア. 指導のねらい・工夫

音楽を特徴づけている要素である音色・リズム・速さを聴き取り、曲想とその変化を感じ取らせたり、感じ取ったことを身体や言葉で表現させることにより、2つのお囃子の特徴に気付かせたい。

それぞれの楽器の音や音色を聞き分ける際には、楽器の音の高低や素材に注目させて、「高

い」「低い」「かたい」「やわらかい」というような具体的な言葉を使って表現させたい。
 また、太鼓に合わせて身体を自由に動かさせることで、リズムや速さの違いを感知させたり、
 お囃子に合わせて指揮をさせて、はじめて体験する日本音楽独特の「間」や「緩—急」を
 感知させたい。

イ. 研究との関わり

「伝え合う力」を育成するための手立て

「伝え合う力」を育てるために、音楽を特徴づけている要素である音色・リズム・速さ
 とその変化について聴き取ったことや感じ取ったことを身体で表現したり、学習カードに言
 葉で表したものをもとに話し合ったりしながら、それぞれのお囃子の特徴をまとめる。

音楽を特徴づけている要素の働きや関わり合い、音楽のしくみなどについて、気付いたこと
 やわかったことを話し合いながらお囃子の特徴をまとめる。

4. 題材の評価規準

- ・日本的な音色のよさや日本のリズムに関心を持って聴いている。 【関心・意欲・態度】
- ・お囃子の音色・リズム・速さに気を付けて聴き、曲想の違いを感じ取っている。【鑑賞の能力】

5. 学習指導計画（全1時間）

- ・音楽の特徴を感じ取りながら、お囃子を聴く。（1）

6. 本時の指導

（1）目標

- ・日本的な音色やリズムに関心を持って、2つのお囃子を聴き比べようとしている。 【関心・意欲・態度】
- ・音色・リズム・速さの違いを聴き取ることにより、2つのお囃子の特徴に気付くことができる。 【鑑賞の能力】

（2）展開

段階	主な学習活動	○留意事項◎評価【観点】《方法》
導 入	1 さんさ踊りの曲を聴き、曲に合わせて 身体を動かす。	○踊りと一緒に演奏されていることを確認す る。
10 分	2 本時の学習の課題を把握する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">音色・リズム・速さを聴き比べて、そ れぞれのお囃子の特徴をまとめよう。</div>	

<p>展開</p> <p>25分</p>	<p>3 お囃子の特徴を聴き取る。</p> <p>「太鼓はドン（重）とトン（軽）の2つの音があった。」</p> <p>「笛は、何人かで吹いている。」</p> <p>「鉦はカンカンと高い音がした。耳に響く音だった。」</p> <p>4 2つのお囃子のリズムや速さの違いに気付く。</p> <p>「2拍子や3拍子の指揮には、合わない。」</p> <p>「神田ばやしは速いし、祇園ばやしはゆっくりしている。」</p> <p>「神田ばやしは速くて、身体を動かすににくい。」</p> <p>「神田ばやしは、細かい音が多いし、止まったり速くなったりして、動きにくい。」</p> <p>「祇園ばやしのほうが、盛岡さんさに似ている。」</p>	<p>○演奏している様子や楽器の写真を見せて、イメージをふくらませる。</p> <p>○演奏に使われている楽器の音の高低による音色の違いを意識させる。</p> <p>◎太鼓・鉦・笛（能管・篠笛）の音の高低や音色をよく聴き、何種類の楽器があるか、音色がいくつあるか、聴き分けようとしている。</p> <p>【関心・意欲・態度】《学習シート》</p> <p>○児童の様子を見ながら、聴かせる。</p> <p>○範奏に合わせて2拍子や3拍子の指揮をさせる。</p> <p>○太鼓のリズムに合わせて、自由に身体を動かせる。</p> <p>○囃子の変化や曲の展開の仕方に気付かせる。</p>
	<p>5 お囃子の特徴を話し合う。</p> <p>「神田ばやしは、太鼓や鉦のリズムが細かいし、途中で速さが変わってさみしい感じがしたけど、最後は楽しい感じになったので、良かった。」</p> <p>「祇園ばやしは、笛が旋律で太鼓が合わせている感じがした。同じような旋律や太鼓・鉦のリズムが繰り返しているように聞こえた。速さはあまり速くなく、ゆっくりした感じがした。」</p>	<p>○2つのお囃子の特徴を話し合いながらまとめさせる。</p> <p>○音色・リズム・速さを比較させる。</p> <p>○写真資料をもとにして、お祭りの様子を話し合わせる。</p> <p>◎音色・リズム・速さを根拠として、それぞれのお囃子の特徴を発表している。【鑑賞の能力】《観察》</p>
	<p>6 学習のまとめをする。</p>	<p>○学習シートに記入させる。</p>

終 末 10 分	7 学習の振り返りをする。	○本時の授業の感想を発表させる。
-------------------	---------------	------------------

(3) 評価規準

観点	A：十分満足できる（例）	B：おおむね満足できる	Cの児童への手立て
関心・意欲・ 態度	楽器の名前を言うなどして興味を持って聴いている。	それぞれのお囃子の違いを感じ取っている。	教科書や楽器の写真をもとにお祭りを想起させる。
鑑賞の能力	2つのお囃子の曲想の違いを感じ取って聴き、日本音楽独特の「間」や「緩一急」を味わって聴いている。	太鼓や鉦のリズムや速さの違いを聴き取ったり、笛（能管・篠笛）の音色を聞き分けたりして聴いている。	太鼓の音色やリズムに注目させて、聴かせる。

板書計画

音色・リズム・速さを聴き比べて、
それぞれのお囃子の特徴をまとめよう。

1、2つのお囃子を聴きくらべよう。

	祇園囃子（ぎおんばやし）・・・京 都	神田囃子（かんだばやし）・・・東 京
リ ズ ム	締太鼓と鉦が能管に合わせている 管＝旋律、締太鼓・鉦＝リズム伴奏 繰り返している 掛け声が入る	細かい音が多い 楽器のリズムがみんなちがう はじめと終わりの部分のリズムが同じ、 真ん中の部分のリズムは異なっている
速 さ	ゆっくりしている 速さは変わらない	速い→遅い→速い 速さが変化する
楽 器	(トン) 締太鼓 (しめだいこ) 2人 (カン) 鉦 (かね) 8人 (ピー) 能管 (のうかん) 8人	(ドン) 大太鼓 (おおだいこ) 1人 (トン) 締太鼓 (しめだいこ) 2人 (カン) 鉦 (かね) 1人 (ヒヤラ) 篠笛 (しのぶえ) 1人
感 じ	まとまっている ゆったりしている 楽しい	はじめー楽しい、元気、 真ん中ーさびしい、かなしい、静か おわりー楽しい、元気、はじめと同じ 感じが変わる

2、まとめよう。

祇園囃子（ぎおんばやし）は、京都のお祭りで、屋台の動きに合わせて演奏される。
（能管）は旋律を、（締太鼓、鉦）は旋律に合わせて、掛け声も入って、大勢で（ゆっ
くりした）速さで（ゆったりした）感じで演奏される。

感想

神田囃子（かんだばやし）は、東京のお祭りで、屋台の上で演奏される。（大太鼓、
締太鼓、鉦、篠笛）の楽器で演奏される。速さは、はじめの部分は（速い）、真ん中の
部分は（遅い）、終わりの部分は（速い）。速い部分は（楽しい）感じ、遅い部分は（さ
みしい）感じで演奏される。

感想